

～まちの活力を生み、育てる～ 「にぎわい交流拠点」へ向けて

(仮称) 平泉町社会教育施設 令和4年7月オープン予定



(仮称) 平泉町社会教育施設完成イメージ図 (正面)

多機能な複合型施設

町では、公民館、図書館の老朽化に伴う社会教育施設の整備を来年7月開館に向けて進めています。新たな施設は公民館と図書館を併設し、多目的ホールや子育て支援スペースを設けた複合施設となり、町民の幅広い活動の場としての利用が期待されます。町にとって社会教育施設が、人づくり・まちづくりに重要な役割を果たす「にぎわいの交流拠点」となることを目指しています。

社会教育施設の役割

■公民館

現在の公民館から移設し、町民の学習や交流する場として整え、地域を支える人づくりの促進となる環境を目指します。

■図書館

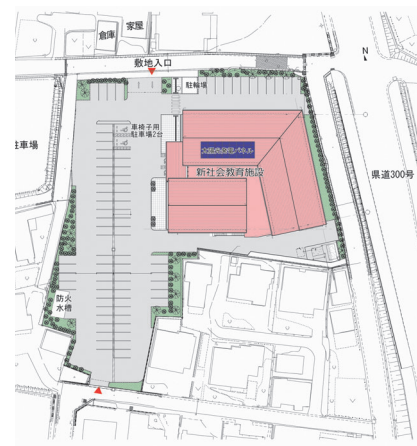
現在の町立図書館から移設し、他の機能と連携することで、より気軽に利用できる環境とします。

■子育て支援

育児相談や子育てに役立つ情報を提供、交換できる環境を目指します。

■多目的ホール

イベント活動などの幅が広がり、新たなコミュニティ形成を促進します。



- 場所 平泉字志羅山24-1ほか (JR平泉駅から徒歩3分)
- 面積 約1,750平方メートル
- 構造 鉄骨造 2階建て
- 駐車台数 77台 (内車いす用4台)
- 駐輪台数 10台程度

第2回 ワークショップ

1月17日に町内の芸術文化団体などから17人が参加し、社会教育施設整備に係る第2回ワークショップを役場で開催しました。ワークショップでは、施設の内装や備品などについて意見を募りました。参加者は、床材などのサンプルを見比べ、設計企業に質問したり説明を受けたりしながら「子どもたちが通いたくなるような明るい壁紙にしたい」「トイレの洗面台は清掃しやすいものがいい」など活発に意見を交換しました。



3班に分かれて意見交換をしました

工事の安全祈願祭

1月18日に社会教育施設の建設地で関係者を招き工事の安全祈願祭を行いました。安全祈願祭に出席した青木町長は「子どもから大人まで『学び』や『情報交換』の場として、新たな平泉を創り出し後世に伝える拠点としていきたい」と話しました。



社会教育施設の安全祈願祭で青木町長がくわ入れを行いました